

あぶないブロック塀とは

◎チェックポイント

<p><input type="checkbox"/>傾き、またはグラツキがある。 塀が傾いていたり、手で押すとグラツキがあるものは、少しの揺れで塀が倒れる危険性があります。手で押し調べるときは周囲に注意してください。</p>	<p><input type="checkbox"/>ひび割れがある。 ◎ひび割れは、その部分から雨水が入り中にある鉄筋をさびさせ、長い間には鉄筋がなくなってしまいます。少しの揺れで塀が倒れる危険性があります。</p>	<p><input type="checkbox"/>高さが高すぎる。 ◎ブロックの厚さが10cmの場合は塀の高さは2.0m以下、15cmの場合で2.2m以下です。高い塀は強い地震の揺れで倒れ易くなります。</p>
		
<p><input type="checkbox"/>控壁の間隔がひろすぎる。また控壁がない。 ◎高さが1.2mを超える塀では控壁が必要で、その間隔は3.4m以下で、この間隔が広すぎたり、控壁がない場合は、強い地震の揺れで倒れ易くなります。</p>	<p><input type="checkbox"/>透かしブロックが連続して使用されている、また多すぎる。 ◎配筋用のエグレのない透かしブロックは必要な鉄筋が入りません。したがって、鉄筋の入っていないこのような塀は強い地震の揺れで倒れ易くなります。</p>	<p><input type="checkbox"/>築後30年以上たっている。またブロックがボロボロである。 ◎長い間にブロックが劣化し、雨水が入り鉄筋をさびさせて塀の耐久・耐震性に問題がでます。</p>
		
<p><input type="checkbox"/>石垣などの上に建っている。 ◎石垣の上の塀は、地震などの揺れに抵抗する鉄筋が、塀下の石垣に固定されません。したがって、少しの揺れで塀が倒れることになります。</p>	<p><input type="checkbox"/>土留めに使っている。 ◎ブロックでの土留めは、後ろの土の重量を支えるだけのブロックの厚さや必要な鉄筋の本数が不足します。したがってこのようなつくりかたは地震で倒れる危険性が大です。</p>	
		